

# Chapter 1 章タイトル

基本コンセプト

- その言語の魅力、面白さを伝える
- 内容はガチでも、デザインは柔らか

## XX-01 節タイトル - Start With Viliostyle

リード文。読者に話しかける感じで、この節で説明することを知ると、何ができるようになるのかを伝えてください。あああああああああああああああああああ



## ●モジュールを利用する - h3中見出し

## ●datetimeクラスの利用 - h4小見出し

Chapter 4 でオリジナルの関数をまとめたモジュールを作りましたが、実は Python には、はじめから多数のモジュールが付属しています。これら 付属のモジュール を総称して「標準ライブラリ」と呼びます。

標準ライブラリのモジュールを利用することで、プログラムでできることの範囲をさらに広げることができます。標準ライブラリはimport文でインポートするだけですぐに利用できます。

**CODE** chap5-3-1

```
115 from datetime import date, timedelta
116 start = date( 2018, 6, 18 )    #←コメントの先頭を←にすると引き出し線に
117 for days in range(14):        #←繰り返しのfor文
118     cur = start + timedelta( days=days )
119     print( cur )
```

## 実行結果

2018/6/18  
2018/6/18  
2018/6/18  
2018/6/18

複数のクラスをカンマ区切りで指定すると、まとめてインポートできます。

## ●2週間分の日付の一覧を作る

開始日から2週間分の日付を表示するプログラムを書いてみましょう。「2週間分」のように複数のデータを作る場合、for文を使うことはすぐ思いつきます。ただし、dateオブジェクトだけで2週間分の日付を作ろうとするとうまくいきません。その月の最終日を越えた日付、たとえば33日などを渡すと、バリュエラーが発生してしまうからです。そこで、開始日のdateオブジェクトを作り、そこに経過日数のtimedeltaオブジェクトを加えて目的の日付を作ります。 $x^2$

$$y = x^2 + \frac{1}{3}\sqrt{2}$$

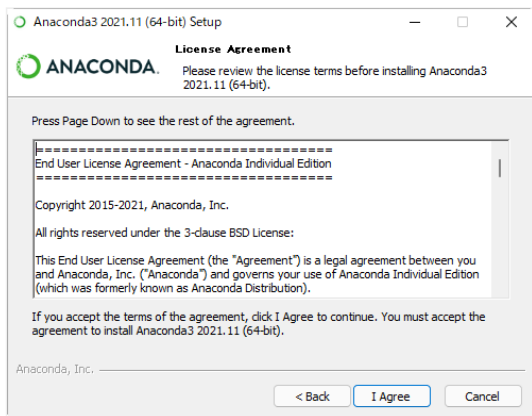
## 標準ライブラリのモジュール（抜粋）

モジュール名	説明
csv	CSV ファイルの読み込みと書き込みを行う
datetime	日時を扱う
json	Web でよく用いられる JSON 形式のデータを扱う
math	三角関数など数値計算用の関数がまとめられている
pathlib	ファイルやフォルダの操作を行う
random	乱数（デタラメに見える数）を生成する
tkinter	GUI アプリケーションを作る
zipfile	ZIP 形式の圧縮ファイルを扱う

- 箇条書きああ
- 箇条書き
- 箇条書き
- 箇条書き

### 1. 番号付き箇条書き

2. 番号付き箇条書き
3. 番号付き箇条書き
4. 番号付き箇条書き



1手順 [I Agree] をクリック

2手順 [Cancel] をクリック

▶結果

## コラム：コラムタイトル

開始日から2週間分の日付を表示するプログラムを書いてみましょう。「2週間分」のように複数のデータを作る場合、for文を使うことはすぐ思いつきます。ただし、dateオブジェクトだけで2週間分の日付を作ろうとするとうまくいきません。その月の最終日を越えた日付、たとえば33日などを渡すと、バリューエラーが発生してしまうからです。そこで、開始日のdateオブジェクトを作り、そこに経過日数のtimedeltaオブジェクトを加えて目的の日付を作ります。

### CODE chap5-3-2

# Chapter 2 章タイトル

基本コンセプト

- その言語の魅力、面白さを伝える
- 内容はガチでも、デザインは柔らか

## XX-01 節タイトル - Start With Viliostyle

リード文。読者に話しかける感じで、この節で説明することを知ると、何ができるようになるのかを伝えてください。あああああああああああああああああああ



## ●モジュールを利用する - h3中見出し

## ●datetimeクラスの利用 - h4小見出し

Chapter 4でオリジナルの関数をまとめたモジュールを作りましたが、実はPythonには、はじめから多数のモジュールが付属しています。これら**付属のモジュール**を総称して**「標準ライブラリ」**と呼びます。

標準ライブラリのモジュールを利用することで、プログラムでできることの範囲をさらに広げることができます。標準ライブラリはimport文でインポートするだけですぐに利用できます。

**CODE** chap5-3-1

```
115 from datetime import date, timedelta
116 start = date( 2018, 6, 18 )    #←コメントの先頭を←にすると引き出し線に
117 for days in range(14):        #←繰り返しのfor文
118     cur = start + timedelta( days=days )
119     print( cur )
```

## 実行結果

2018/6/18  
2018/6/18  
2018/6/18  
2018/6/18

複数のクラスをカンマ区切りで指定すると、まとめてインポートできます。

## ●2週間分の日付の一覧を作る

開始日から2週間分の日付を表示するプログラムを書いてみましょう。「2週間分」のように複数のデータを作る場合、for文を使うことはすぐ思いつきます。ただし、dateオブジェクトだけで2週間分の日付を作ろうとするとうまくいきません。その月の最終日を越えた日付、たとえば33日などを渡すと、バリュエラーが発生してしまうからです。そこで、開始日のdateオブジェクトを作り、そこに経過日数のtimedeltaオブジェクトを加えて目的の日付を作ります。 $x^2$

$$y = x^2 + \frac{1}{3}\sqrt{2}$$

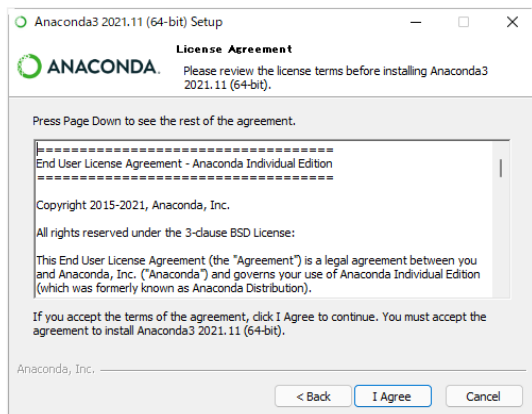
## 標準ライブラリのモジュール（抜粋）

モジュール名	説明
csv	CSV ファイルの読み込みと書き込みを行う
datetime	日時を扱う
json	Web でよく用いられる JSON 形式のデータを扱う
math	三角関数など数値計算用の関数がまとめられている
pathlib	ファイルやフォルダの操作を行う
random	乱数（デタラメに見える数）を生成する
tkinter	GUI アプリケーションを作る
zipfile	ZIP 形式の圧縮ファイルを扱う

- 箇条書きああ
- 箇条書き
- 箇条書き
- 箇条書き

### 1. 番号付き箇条書き

2. 番号付き箇条書き
3. 番号付き箇条書き
4. 番号付き箇条書き



❶手順 [I Agree] をクリック

❷手順 [Cancel] をクリック

▶結果

## コラム：コラムタイトル

開始日から2週間分の日付を表示するプログラムを書いてみましょう。「2週間分」のように複数のデータを作る場合、for文を使うことはすぐ思いつきます。ただし、dateオブジェクトだけで2週間分の日付を作ろうとするとうまくいきません。その月の最終日を越えた日付、たとえば33日などを渡すと、バリューエラーが発生してしまうからです。そこで、開始日のdateオブジェクトを作り、そこに経過日数のtimedeltaオブジェクトを加えて目的の日付を作ります。

### CODE chap5-3-2